NIE実践報告

1．タイトル：「ＨＡＰＰＹ　ＮＥＷＳ」応募から考える

２．学校名

北海道苫小牧西高等学校

３．実践者名（代表者名）

浦川　雅智

４．学年

１学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

３７名

６．単元（本時の学習課題）名

「私たちの代表を選ぶ選挙」

７．目標（狙い）

主権者である国民が政治に参加するもっとも基本的な方法が「選挙」であることを知り、作品応募も自分の考えを表現する一つの方法であることを理解させる。また、「幸福とは何か」について考察させる。

８．評価の視点

留意点をふまえたうえで、課題が仕上がっているか。
「幸福とは何か」について、いろいろな角度から捉えることができているか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

平成２３年度シラバスにしたがって１時間で実施。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

① 夏休み課題として、作品応募を行うことを目標とする（「ＨＡＰＰＹ　ＮＥＷＳ」）。
② 提出された作品からいくつか選び、生徒に読んでもらう。
③ 記事についてのワークシートを配布し、「幸福とは何か」について考えさせる。。
④ ワークシートに書かれた意見や感想をプリントにまとめる。このプリントといっしょに参考資料「ブータンの国民総幸福量」（ＧＮＨ）も配布し、比較を通じてさらに踏み込んだ考察を行う。

（留意点）
・一つの視点にとらわれず、複眼的思考をおこなうこと。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

課題作成に戸惑っている生徒もいたが、ワークシートにおける作業では自分の身近な事例に置き換えて、踏み込んだ考察を行う場面が見られた。

12．成果と課題

多視点から物事をとらえることの重要性を、わかってもらえたと考える。また応募することは自己表現力を高める良い機会となる。教科と連携して（国語科）、リライトを行うのもよいのではないか。今後も教える側・教わる側双方がもっと楽しめるような授業展開を考え、ＮＩＥ教材のバリエーションを増やし工夫していきたいと思う。